

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
昭和55年2月13日 第42報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Dinobryon divergens</i>	60		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	100		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	320	○	
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	180		○
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	20		
(緑) <i>Tetraspora lacustris</i>	320	○	
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	640	◎	◎
(緑) <i>Closterium</i> sp.	20		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	60	3.6	8.3
(珪) 珪藻綱	420	25.3	9.2
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	180	10.8	21.2
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1000	60.2	61.3
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	1660	総体積	1.44E+06
種類数	8	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	640

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Tetraspora lacustris</i>	320

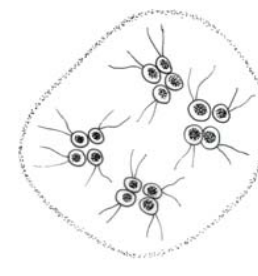
植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



Tetraspora lacustris
(テトラスポラ)
緑藻綱

細胞は4個ずつ規則正しく配列し、中空の球体をなす。2本の偽せん毛を有する。